エコアクション21

環境経営レポート

対象期間：2025年7月～2026年6月

発行日：2026年7月24日

株式会社ミヤマ電気

目　　次

1.	組織の概要	・・・	1
2.	実施体制	・・・	2
3.	環境経営方針	・・・	3
4.	環境経営目標	・・・	4
5.	環境経営計画及び実施状況	・・・	5
6.	環境経営目標の実績と評価	・・・	6
7.	活動事例の紹介	・・・	12
8.	環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果 並びに違反、訴訟等の有無	・・・	13
9.	代表者による全体の評価と見直し・指示	・・・	14
10.	次年度の環境経営計画	・・・	15

1.組織の概要

1. 事業者名及び代表者名

株式会社 ミヤマ電気
代表取締役　　実山　香代子
創　　業　　：　1978年9月30日
設　　立　　：　1978年9月30日
資　本　金　　：　1,000万円

2. 所在地

本社　　〒870-0142　大分県大分市三川下2丁目2番21号

3. 環境管理責任者および連絡先

環境管理責任者　　常務取締役
TEL : 097-551-8117　　FAX : 097-551-8047
メール　md8117@buz.bbiq.jp

4. 事業内容

建設業許可番号 ： 大分県知事　一般　03-005087号
許可の種類　　： 電気工事業

5. 事業規模

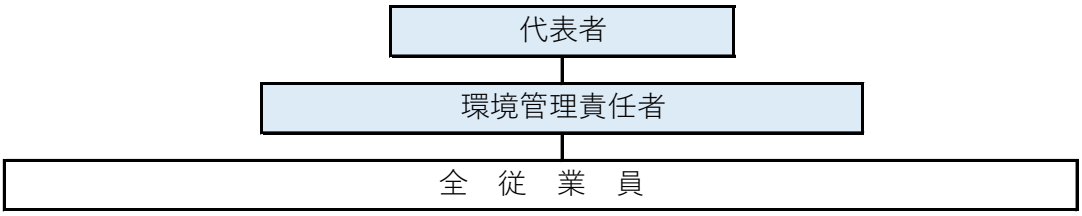
活動規模	単位	2023年 (2023.7-2024.6)	2024年 (2024.7-2025.6)	2025年 (2025.7-2026.6)
工事件数 (100万円以上)	件	46	31	34
売上高	百万円	254	254	173
従業員数	人	14	14	14
事務所床面積 (2階フロアのみ)	㎡	58.9	58.9	58.9
倉庫床面積 (1階フロアのみ)	㎡	58.9	58.9	58.9

6. 対象範囲、レポート対象期間

認証・登録範囲　　： 株式会社ミヤマ電気の全組織、全活動とする
事業年度　　： 7月～6月

2.実施体制

1. 組織図



2. 役割と責任及び権限

	役割　・　責任　・　権限
代表者	・ 環境経営に関する統括責任者 ・ 環境経営に必要な経営資源（人・物・資金）の準備 ・ 環境管理責任者の任命 ・ 環境方針を定める ・ 環境目標及び環境活動計画、実施体制の承認 ・ 代表者による全体の評価と見直しの実施 ・ 環境経営レポートの承認
環境管理責任者	・ 環境経営システムの構築・運用・管理に関する責任者 ・ 環境経営システムの運用、管理状況を代表者へ報告 ・ 環境関連法規等のとりまとめ表の承認、遵守状況チェック結果の承認 ・ 環境目標、環境活動計画、実施体制の作成と全体調整 ・ 環境上の緊急事態の想定および対応策の作成 ・ 問題点の是正および予防処置の作成 ・ 環境経営レポートの作成
全従業員	・ 環境管理責任者の補佐 ・ 環境関連文書、記録の管理 ・ 環境活動に関する実績のとりまとめ ・ 外部環境コミュニケーションに関する窓口 ・ 必要な手順書（ステッカー類）などの作成・管理 ・ 問題点の発見および是正、予防処置を実施 ・ 環境方針、環境目標などの理解と自らの役割を自覚 ・ 自主的、積極的に環境活動に参加

3.環境経営方針

■経営理念

私たち株式会社ミヤマ電気は、
全従業員と関わる全ての人々の幸せのために
安心・安全な電気工事を行う事で
世の中のお役に立ちます

■基本方針

株式会社ミヤマ電気は、日々の生活や企業活動になくてはならない電気の工事を行っています。安心・安全な電気工事を行うために、必要な技術と確かな知識を身につけていきます。また、自分を含むみんながこの地球上で幸せに暮らせる事を思い描きながら、身の回りの環境について出来る事をみつけて実行していきます。一人一人の出来る事は小さな事ですが、微力は無力ではありません。小さな事からこつこつと、環境に配慮した事業活動を行っていきます。

■行動指針

１．具体的に次の事に取組みます。

①電気及び燃料の使用量の削減により二酸化炭素排出量の削減に努めます。
②廃棄物の分別の徹底・減量・再使用・再生利用を推進します。
③節水を心がけます。
④倉庫の整理・整頓に努め、使用原材料の省資源化を推進します。
⑤技術伝承プロジェクトにより技術の向上と継承をおこないます。
⑥事業所周辺の清掃活動を推進します。

これらについて環境目標、環境計画を定め、定期的に見直しを行い、継続的な改善に努めます。

２．環境関連法規制や当社が約束したことを遵守します。

３．この環境経営方針は、全社員に周知するとともに社内外に公表します。

制定日：２０１７年3月7日
改定日：２０２０年１０月１日
株式会社ミヤマ電気
代表取締役　実山香代子

4.環境経営目標

各年度の対象期間は7月～翌年6月

環境方針番号	環境目標	基準年度 2024年度実績 (47期 実績)	2025年度 目標数値 (48期 目標)	2026年度 目標数値 (49期 目標)	2027年度 目標数値 (50期 目標)
1	二酸化炭素排出量の削減	25,495 kg-CO_2	25,470 基準年度比 △0.1%	25,444 基準年度比 △0.2%	25,419 基準年度比 △0.3%
1-1	電気使用量の削減	7,633 kWh	7,625 基準年度比 △0.1%	7,618 基準年度比 △0.2%	7,610 基準年度比 △0.3%
1-2	ガソリン使用量の削減	8,977 L	8,968 基準年度比 △0.1%	8,959 基準年度比 △0.2%	8,950 基準年度比 △0.3%
1-3	軽油使用量の削減	462 L	462 基準年度比 △0.1%	461 基準年度比 △0.2%	461 基準年度比 △0.3%
1-4	灯油使用量の削減	164 L	164 基準年度を維持 4時間以内/1日	164 基準年度を維持 4時間以内/1日	164 基準年度を維持 4時間以内/1日
2-1	一般廃棄物(可燃物) 排出量の削減	168.5 kg	168.3 基準年度比 △0.1%	168.2 基準年度比 △0.2%	168.0 基準年度比 △0.3%
2-2	産業廃棄物リサイクル 率の向上と分別の徹底	89.5 %	89.5 基準年度を維持	89.5 基準年度を維持	89.5 基準年度を維持
3	水使用量の削減	84 ㎥	84 基準年度を維持	84 基準年度を維持	84 基準年度を維持
4	コピー用紙使用量の削減	書類データの 電子化 2種類	書類データの 電子化 2種類	書類データの 電子化 2種類	書類データの 電子化 2種類
5	倉庫５S活動の推進	倉庫の片付け １回/4ヵ月	倉庫の片付け １回/4ヵ月	倉庫の片付け １回/4ヵ月	倉庫の片付け １回/4ヵ月
6	技術の伝承	技術・安全・法令等の研修 1回/2カ月	技術・安全・法令等の研修 年6回	技術・安全・法令等の研修 年6回	技術・安全・法令等の研修 年6回
7	事業所周辺の清掃活動	1回	1回	1回	1回

※ 九州電力　2023 年度調整後排出係数　0.402 kg-CO_2/kWhを使用

二酸化炭素排出量 kg-CO_2=電気×0.402+ガソリン×2.32+軽油×2.58+灯油×2.49

5.環境経営計画及び実施状況

評価：　○　できた　　△　できたが改善の余地あり　　×　できなかった

環境方針番号		目標課題	具体的な行動（活動）	工事部門	事務所
二酸化炭素排出量の削減	1-1	電力使用量の削減	1. 室内温度を季節毎にあわせて適宜調整する（目安：冬季22度・夏季27度）	－	○
			2. OA機器の電源を退社時OFFする	－	○
			3. 空調機フィルターの清掃をおこなう	－	○
			4. 昼休憩時、事務所の照明を消す	－	○
			5. 前年度比較表を作成し各月の数値をグラフ化し公表・周知する	－	○
	1-2 1-3	ガソリン・軽油使用量の削減 (1車両当りの燃費の向上)	1. 「エコドライブ10のすすめ」を安全会議時に提唱する（8月・1月・5月）	○	○
			2. 発進時緩やかに加速する（ｅスタート）	○	○
			3. タイヤの空気圧チェックをおこなう（年２回 12月・6月）	○	○
			4. エンジンオイルの交換時期を知らせ、適正に交換する	○	○
			5. 高所作業車使用時は事前に作業内容や手順を確認し作業を開始する	○	－
	1-4	灯油使用量の削減　(1日の使用時間の削減)	1. 1日の使用時間を短縮する	－	○
			2. 退社15分前にストーブを消す	－	○
2-1		一般廃棄物(可燃物)排出量の削減	1. リサイクル可能ゴミの確認や分別についての講習をおこなう	○	○
			2. ごみの分別を徹底する	○	○
			3. 前年度比較表を作成し各月の数値をグラフ化し公表・周知する	－	○
2-2		産業廃棄物リサイクル率の向上と分別の徹底	1. 産業廃棄物の分別を徹底する　特に鉄くず・被覆	○	－
			2. マニフェスト用紙の発行方法・記入方法の講習をおこなう	×	○
3		水使用量の削減 (従業員1人当りの使用量削減)	1. 安全会議時、節水を呼びかけ意識を喚起する	○	○
			2. 洗いものはまとめてする	○	○
			3. 前年度比較表を作成し各月の数値をグラフ化し公表・周知する	－	○
4		コピー用紙使用量の削減	1. 裏紙コピーの説明と推奨	○	○
			2. 書類データの電子化推進	－	○
5		倉庫5S活動の推進	1. 年3回、倉庫の片づけをする（9月・12月・5月）	○	－
			2. 工具のナンバリングをおこない置き場所を決める	○	－
			3. 年2回工具在庫チェックをおこなう	○	－
6		技術の伝承	1. ２カ月に1回、技術向上学習を行う	○	－
			2. 職務遂行の為の基準一覧を必要に応じて改定していく	△	－
			3. 施工技術及び安全についての学習をする（年2回）	○	－
7		事業所周辺の 清掃活動	1. 年1回、事業所周辺の清掃活動をおこなう	○	○

評価日　　2026/7/15

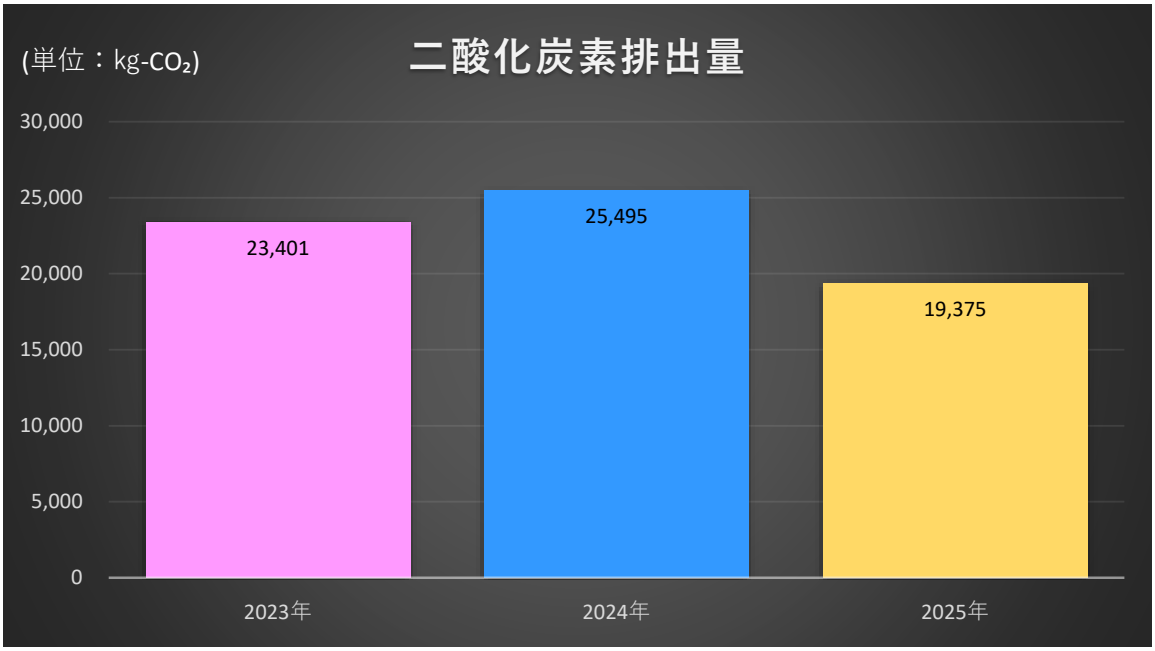
評価者　　環境管理責任者

6.環境経営目標の実績と評価

評価基準：〇100％以上　△80％以上100％未満　×80％未満

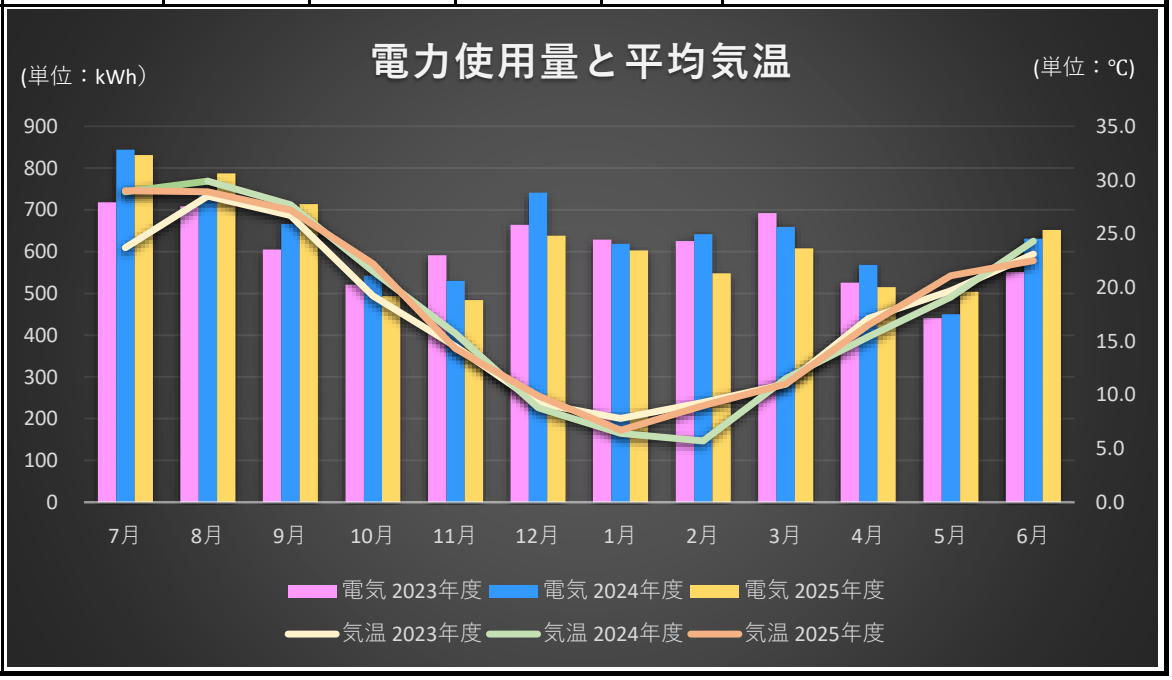
環境方針番号	環境経営目標	基準年(2024年度)	目標値	2025年度(実績値)	達成率 評価	取組結果の評価
1	二酸化炭素排出量の削減 kg-CO_2	25,495	25,470	19,375	131.5% 〇	達　成 大幅に削減できました

活動実績



環境方針番号	環境経営目標	基準年(2024年度)	目標値	2025年度(実績値)	達成率 評価	取組結果の評価
1-1	電力使用量の削減 kWh	7,633	7,625	7,377	103.4% 〇	達　成 秋から冬にかけて節電がしっかりとできていた

活動実績

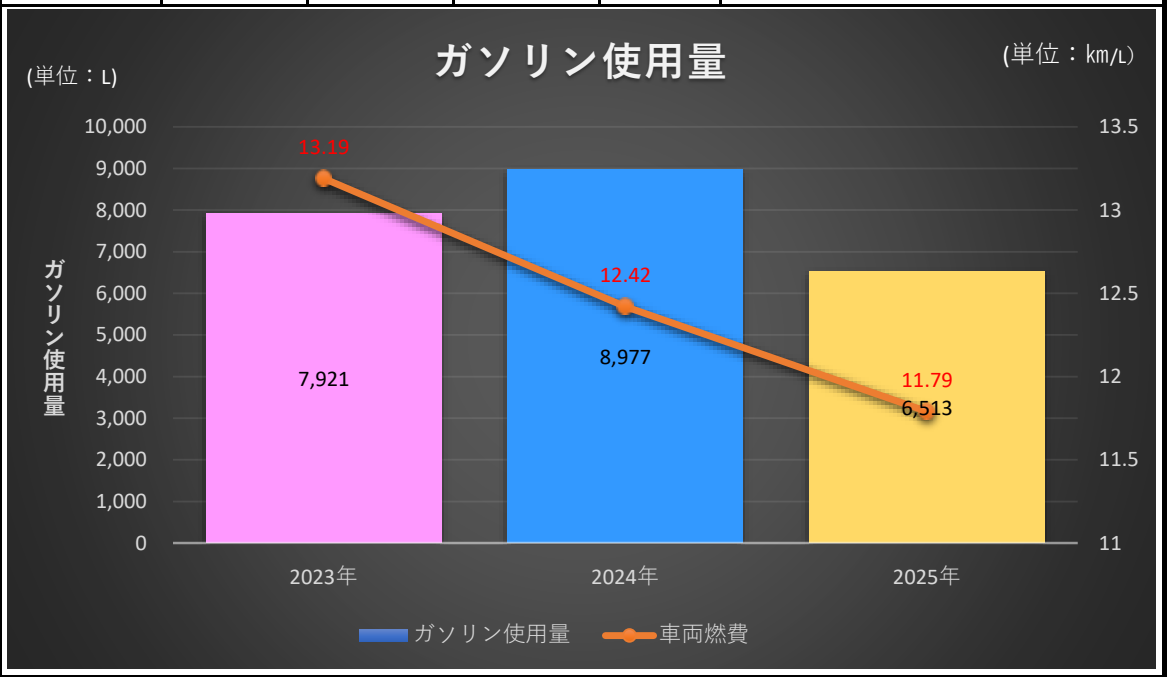


6.環境経営目標の実績と評価

評価基準：〇100％以上　△80％以上100％未満　×80％未満

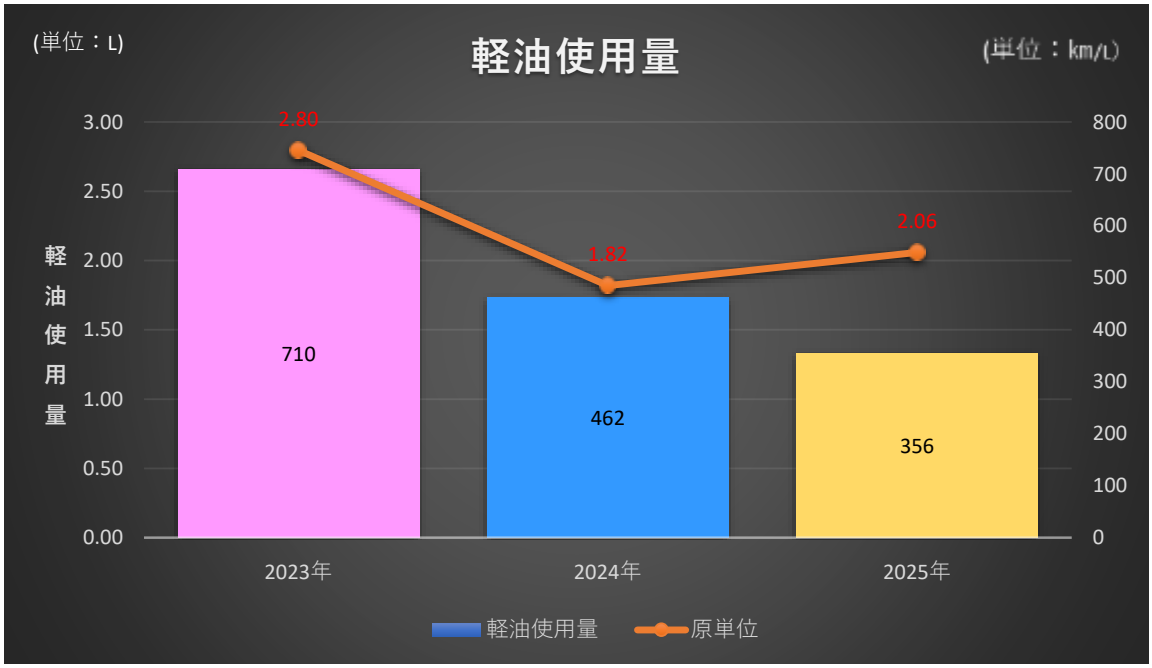
環境方針番号	環境経営目標	基準年(2024年度)	目標値	2025年度(実績値)	達成率 評価	取組結果の評価
1-2	ガソリン使用量の削減 (1車両当りの燃費の向上) L　(km/L)	8,977 (1台当り燃費) 13.34	8,968	6,513 (1台当り燃費) 11.79	137.7% 〇 (1台当り燃費) 88.4% △	使用量　：達　成　　燃費　：未達成 夏季に燃費が低下しました (休憩所のない外現場では騒音等に注意を払いながら熱中症対策として車内で休憩させている)

活動実績



環境方針番号	環境経営目標	基準年(2024年度)	目標値	令和6年度(実績値)	達成率 評価	取組結果の評価
1-3	軽油使用量の削減 L　(L/百万円)	462 (原単位) 1.82	462	356 (原単位) 2.06	129.6% 〇 (原単位) 88.4% △	使用量　：達　成　原単位　：達　成 今年度より1車両燃費の把握からエネルギー使用量の原単位へ変更 次年度以降、増減の原因を把握していきたい

活動実績

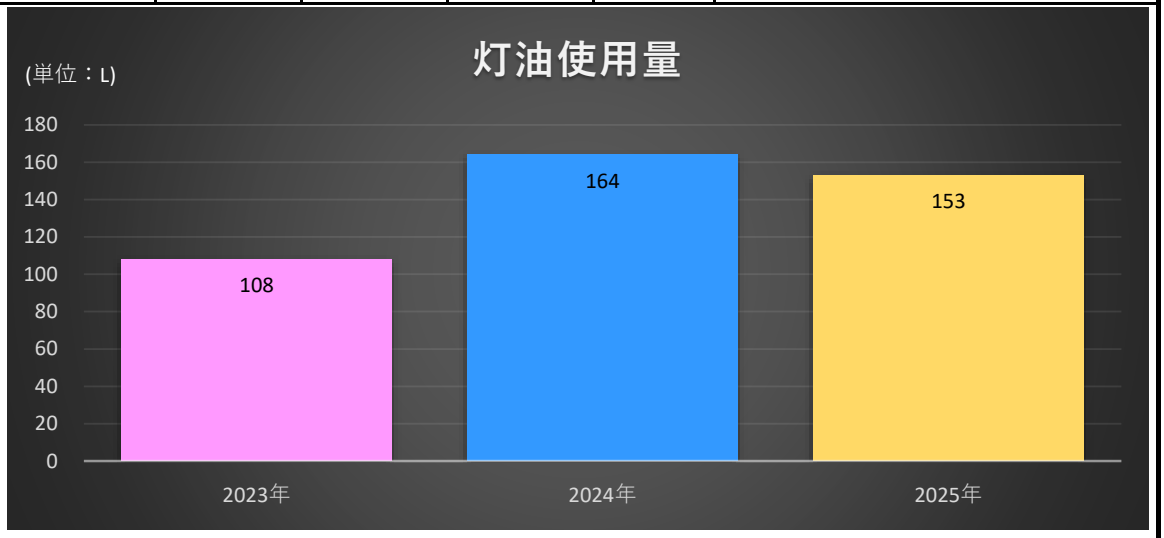


6.環境経営目標の実績と評価

評価基準：〇100％以上　△80％以上100％未満　×80％未満

環境方針番号	環境経営目標	基準年(2024年度)	目標値	2025年度(実績値)	達成率 評価	取組結果の評価
1-4	灯油使用量の削減 (1日の使用時間の削減) L	164	164	153	107.2% 〇	達　成 昨年に引き続き目標達成 今後も引き続き取り組んでいく

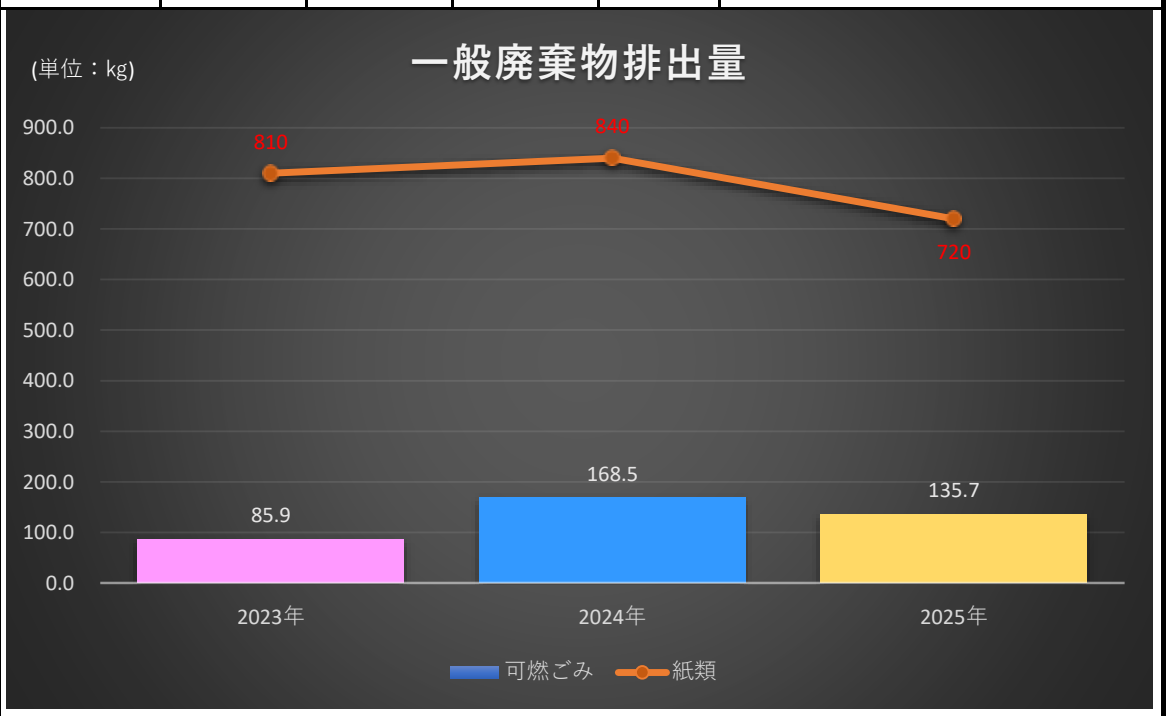
活動実績



2025年度目標数値　　1日の使用時間　4.5時間以内

環境方針番号	環境経営目標	基準年(2024年度)	目標値	2025年度(実績値)	達成率 評価	取組結果の評価
2-1	一般廃棄物(可燃物)排出量の削減 kg	168.5	168.3	135.7	124% 〇	達　成 今後も分別を徹底して削減に取り組んでいく （紙類は全量再資源化している）

活動実績

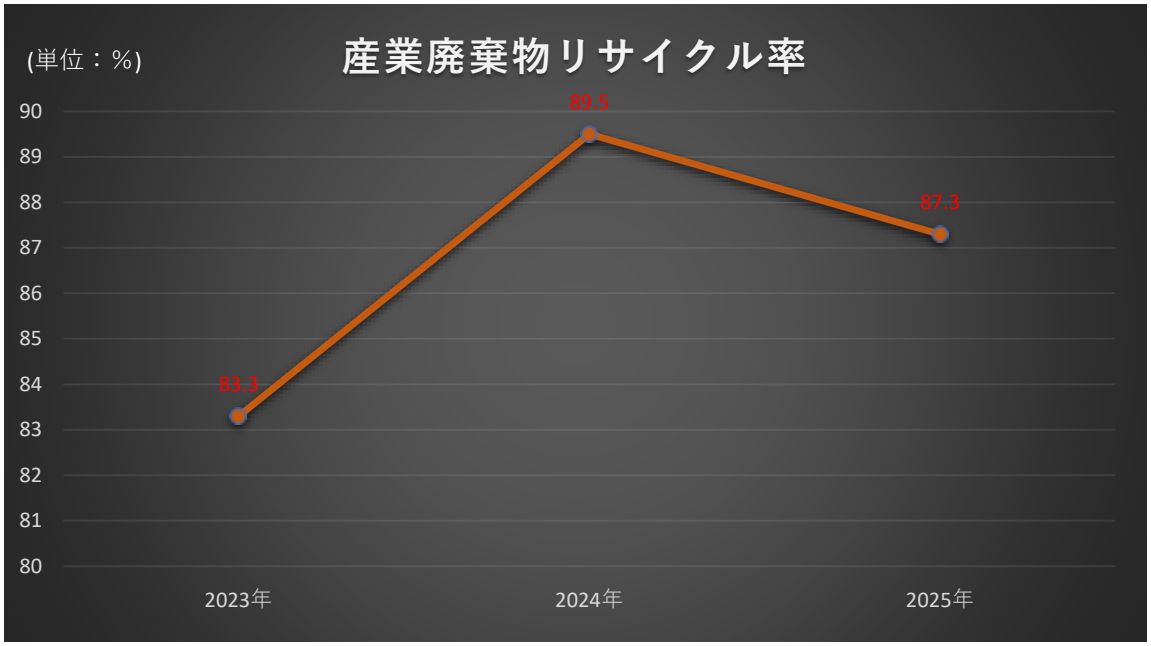


6.環境経営目標の実績と評価

評価基準：〇100％以上　△80％以上100％未満　×80％未満

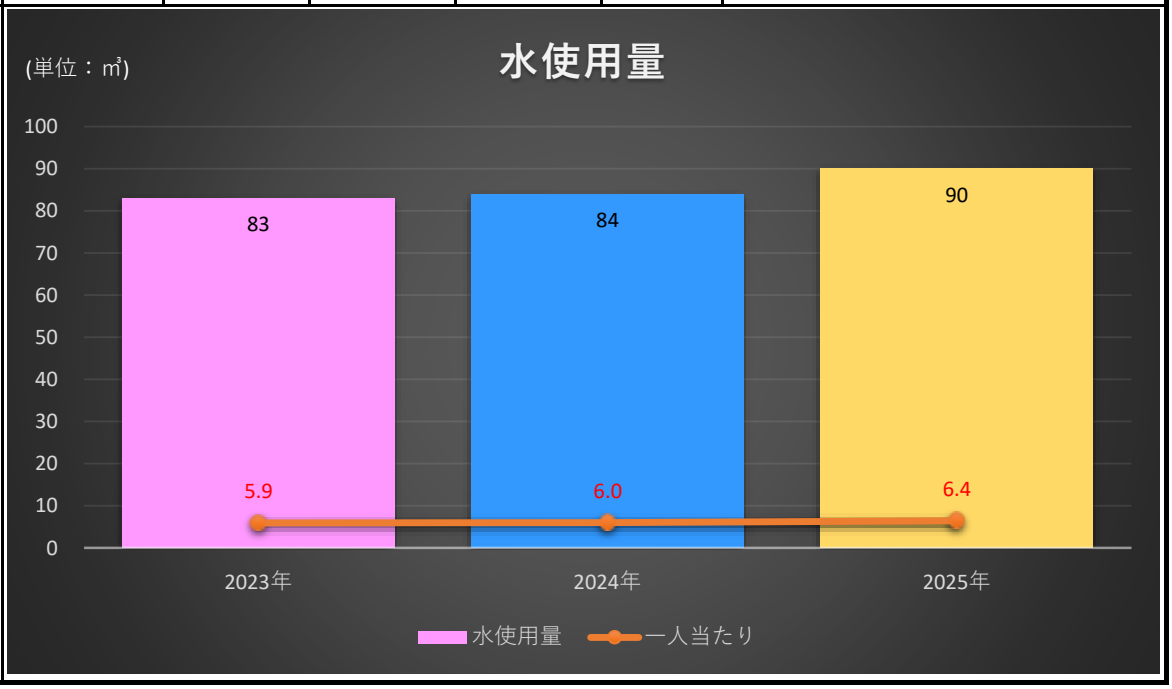
環境方針番号	環境経営目標	基準年(2024年度)	目標値	2025年度(実績値)	達成率 評価	取組結果の評価
2-2	産業廃棄物リサイクル率の向上と分別の徹底 ％	89.5	89.5	87.3	97.5% △	未 達 成 不用品整理を実施 倉庫内は整理できたが排出量が増加しリサイクル率低下となった

活動実績



環境方針番号	環境経営目標	基準年(2024年度)	目標値	2025年度(実績値)	達成率 評価	取組結果の評価
3	水使用量の削減 (従業員1人当りの使用量の削減) (㎥)	84 1人当り使用量 6.0	84.0	90 1人当り使用量 6.4	93.3% △ (1人当り使用量) 93% △	使用量　：未達成　一人当　：未達成 社員全員で節水を意識し削減に取り組む

活動実績

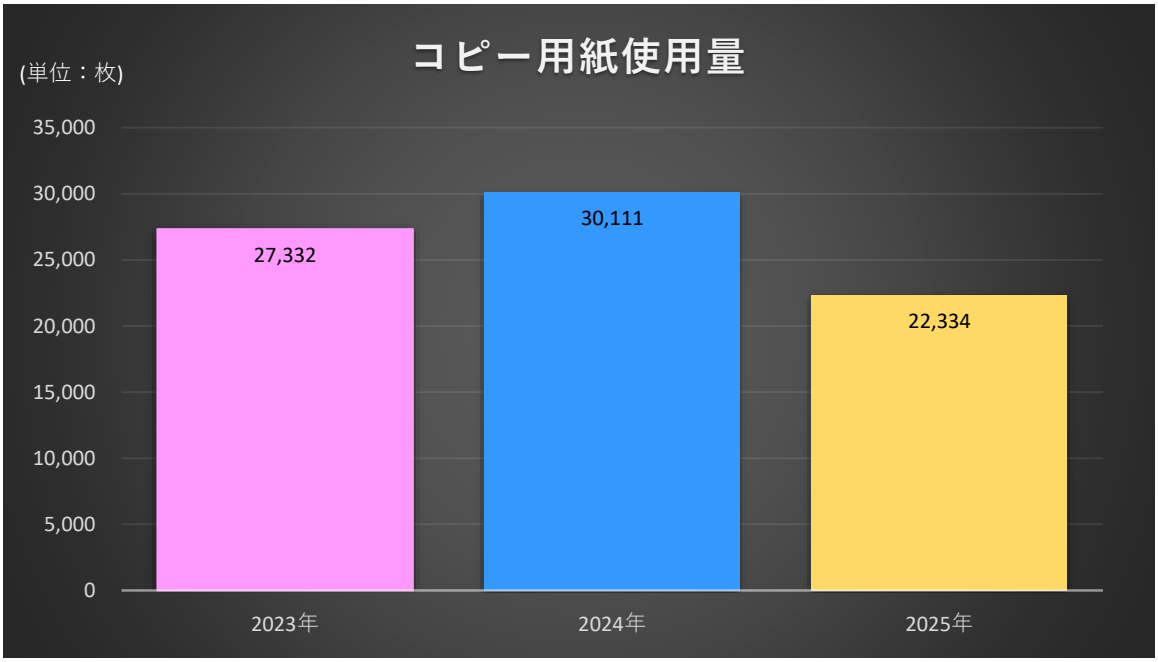


6.環境経営目標の実績と評価

評価基準：〇100％以上　△80％以上100％未満　×80％未満

環境方針番号	環境経営目標	基準年(2024年度)	目標値	2025年度(実績値)	達成率 評価	取組結果の評価
4	コピー用紙使用量の削減 枚	書類データの電子化 ２種類 30,111	書類データの電子化 ２種類 基準年度以下	書類データの電子化 ２種類 22,334	100% 〇 (使用枚数)135% 〇	使用量　：達　成　　枚数　：達　成 書類の電子化及び裏紙利用の推進を今後とも継続する

活動実績



2025年度　書類データの電子化２種類を実施

環境方針番号	環境経営目標	基準年(2024年度)	目標値	2025年度(実績値)	達成率 評価	取組結果の評価
5	倉庫5S活動の推進	倉庫の片づけ 1回/3カ月	倉庫の片づけ 1回/3カ月	倉庫の片づけ 1回/3カ月	100% 〇	達　成 不用品整理を実施 倉庫内の動線確保ができ作業効率が上がった

活動の一例

6.環境経営目標の実績と評価

評価基準：〇100％以上　△80％以上100％未満　×80％未満

環境方針番号	環境経営目標	基準年(2024年度)	目標値	2025年度(実績値)	達成率 評価	取組結果の評価
6	技術の伝承	技術・安全・法令等の研修 1回/2カ月	技術・安全・法令等の研修 年6回	技術・安全・法令等の研修 7回	117% 〇	達　成 計画よりも多く実施できた 各回とも実践を交えての研修が行え、技術伝承の推進に繋がった
活動の一例						

環境方針番号	環境経営目標	基準年(2024年度)	目標値	2025年度(実績値)	達成率 評価	取組結果の評価
7	事業所周辺の清掃活動	1回	1回	1回	100% 〇	達　成 今後とも積極的に地域貢献活動に取り組んでいく
活動の一例	廃品回収は弊社休業日と重なり参加できなかった					

7.活動事例の紹介

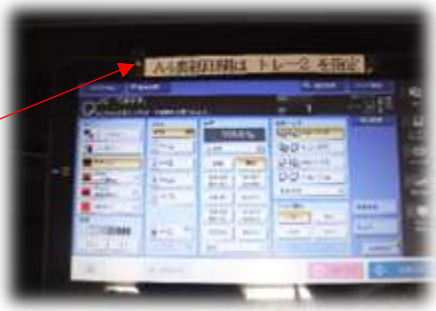
♦ 節電対策

エアコンフィルター清掃

♦ ガソリン・軽油使用量削減

♦ 節水の呼びかけ

♦ 紙使用量削減（裏紙利用推奨）



♦ 廃棄物勉強会

8.環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果
並びに違反、訴訟等の有無

関連法規法令違反はありませんでした。また指摘、訴訟、苦情等もありませんでした。

遵守評価者：環境管理責任者

	関連法令		チェック項目	チェック方法	実施日	評価
1	廃棄物の処理及び清掃に関する法律（廃掃法）	1	産業廃棄物マニフェスト	マニフェスト管理状況確認	R8.7.3	○
		2	廃棄物委託契約書	契約書内容確認	R8.7.3	○
		3	保管場所表示,保管基準遵守	現場確認	R8.7.3	○
		4	管理票交付状況定期報告	年間報告書提出確認	R8.7.3	○
		5	収集運搬車への表示およびマニフェスト携行	現場確認	R8.7.3	○
2	建設リサイクル法	1	電設工事資材の分別とリサイクル化の推進	現場確認	R8.7.3	○
3	フロン排出抑制法	1	室外機の定期点検の実施	定期点検表の確認	R8.7.3	○
		2	廃棄時の適正処理	フロン回収(または機器販売)の適正業者の確認	R8.7.3	○
4	家電リサイクル法	1	リサイクル料支払い	リサイクル券の確認	R8.7.3	○
		2	家電廃棄時の適正処理	家電回収の適正業者の確認	R8.7.3	○
5	(PC)リサイクル法	1	パソコン廃棄時の適正処理	パソコン回収の適正業者の確認	R8.7.3	
6	自動車リサイクル法	1	自動車リサイクル料支払い	リサイクル券の確認	R8.7.3	
		2	自動車廃棄時の適正処理	自動車回収の適正業者の確認	R8.7.3	

9.代表者による全体の評価と見直し・指示

会社名	株式会社ミヤマ電気
見直し実施日	令和8年7月22日
出席者	代表者　実山 香代子　　環境管理責任者

環境情報	代表者のコメント
1 環境関連法規等の遵守状況確認結果	引続き遵守していくこと
2 環境目標の達成状況	目標は維持する
3 環境経営計画の実施状況	CO2削減に向けての取組実施は各自努力していると思います
4 問題点の是正、予防の状況	地域清掃活動を実施月を年間事業として組込む 学習会を継続する（繁忙期を除く）
5 外部からの苦情の有無および対応結果	苦情は1件もなかった。今後とも意識をしていくこと
6 環境上の緊急事態の訓練結果および対応結果	訓練が確実に実施できるよう早目に計画をたてること
7 その他	特になし

見直しの必要性判断と代表者の指示	①環境経営方針	継続する
	②環境経営目標	継続するも目標値設定の変更が必要
	③環境経営計画	継続する
	④環境経営システム	継続する
	⑤実施体制	全従業員で取り組む
	その他の指示	全社員で取り組んでいきましょう

10.次年度の環境経営計画

環境方針の番号		目標課題	具体的な行動（活動）	担当者
二酸化炭素排出量削減	1-1	電力使用量の削減	1. 室内温度を季節毎にあわせて適宜調整する（目安：冬季22度・夏季27度）	A
			2. OA機器の電源を退社時OFFする	A
			3. 空調機フィルターの清掃をおこなう	B
			4. 昼休憩時、事務所の照明を消す	B
			5. 前年度比較表を作成し各月の数値をグラフ化し公表・周知する	B
	1-2 1-3	ガソリン・軽油使用量の削減（1車両当りの燃費の向上）	1. 「エコドライブ10のすすめ」を安全会議時に提唱する（8月・1月・5月）	A
			2. 発進時緩やかに加速する（ｅスタート）	A
			3. タイヤの空気圧チェックをおこなう（年２回 12月・6月）	A
			4. エンジンオイルの交換時期を知らせ、適正に交換する	B
			5. 高所作業車使用時は事前に作業内容や手順を確認し作業開始する	操縦者
	1-4	灯油使用量の削減（使用時間削減）	1. 1日の使用時間を短縮する	A
			2. 退社15分前にストーブを消す	A
2-1		一般廃棄物（可燃物）排出量の削減	1. リサイクル可能ゴミの確認や分別についての講習をおこなう	A
			2. ごみの分別を徹底する	全社員
			3. 前年度比較表を作成し各月の数値をグラフ化し公表・周知する	B
2-2		産業廃棄物リサイクル率の向上と分別の徹底	1. 産業廃棄物の分別を徹底する　特に電線くず・金属くず	全社員
			2. 発生端材の利活用による産業廃棄物の軽減	A
3		水使用量の削減（従業員1人当りの使用量削減）	1. 安全会議時、節水を呼びかけ意識を喚起する	A
			2. 洗いものはまとめてする	D
			3. 前年度比較表を作成し各月の数値をグラフ化し公表・周知する	B
4		コピー用紙使用量の削減	1. 裏紙コピーの説明と推奨	A
			2. 書類データの電子化推進	A
5		倉庫5S活動の推進	1. 年3回、倉庫の片づけをする（9月・12月・5月）	A
			2. 工具の消耗品管理を実施	D
			3. 年2回工具在庫チェックをおこなう	D
6		技術の伝承	1. 年6回、技術向上学習をおこなう	A
			2. 職務遂行の為の基準一覧を必要に応じて改定していく	C
7		事業所周辺の清掃活動	1. 年1回、事業所周辺の清掃活動をおこなう	A